

あなたの着たい制服はありますか？

LGBTQ+当事者と考える制服選択制と自分らしい学校生活



2025（令和7）年

12月13日（土） 13:00～16:00（受付開始 12:30）

焼津市焼津地域交流センター 第5・6会議室

静岡県焼津市本町5丁目6-1 市役所アトレ庁舎3階

講演会 13:10～14:30

講演「学校教育現場における性的マイノリティの児童生徒の受け入れ態勢と提言」

講師 日高 庸晴 氏（宝塚大学看護学部教授）

交流会 15:00～16:00

テーマ「制服選択制についての情報交換、意見交流」

報告「制服屋さんから見た志太地区の制服事情の変遷」

徳田 稔 氏（制服取扱店社長）

報告「私たちが着たかった制服、そして自分らしく生きるために」

性的マイノリティ当事者を含む「しずおか虹と風の学校」メンバー

自由交流

コーディネイター 小谷 しずく（静岡県立高校教諭・しずおか虹と風の学校代表）

申し込み 「こくちーず」より

<https://www.kokuchpro.com/event/77e2dabbbfbad2d8c3858b7ee325ce507/>

主催：しずおか虹と風の学校

後援：焼津市、焼津市教育委員会



<開催にあたって>

近年、教育現場におけるダイバーシティ&インクルージョンの取り組みが進み、制服選択制を導入する学校が増加した。静岡県では公立高校の94%で女子用スラックスが導入され、性自認によらずスカートもズボンも着用できるようになった。一方、男子がスカートを着用することは、校則では問題ないとされつつも、困難な状況が続いている。

今回の講演会・交流会では児童生徒が男らしさ、女らしさを押し付けられることなく、安心して自分らしさを表現して学校生活を過ごすため、制服選択制の有効な活用について考える機会にしたい。また、地元出身の性的マイノリティ当事者との交流を通して、自分らしい性のあり方を身近な問題、自分事として一緒に考えましょう。

<主催団体：「しずおか虹と風の学校」について>

学校や教育における性の多様性や性的指向、性自認、性のあり方について積極的に話し合い、相談し合える交流の場となるよう2020年に発足しました。児童生徒の性的マイノリティ当事者にとって居心地のよい学校、教職員にとっても性別にとらわれず働きやすい職場であるために、多様性や個性を尊重する機運を高めてまいります。皆様のご参加とご支援を歓迎いたします。（代表：小谷しずく）



<登壇者の紹介>

日高 庸晴（ひだか やすはる）

京都大学大学院医学研究科博士後期課程修了、博士号（社会健康医学）取得。カリフォルニア大学サンフランシスコ校医学部エイズ予防研究センター研究員、公益財団法人エイズ予防財団リサーチレジデントなどを経て現職。

文部科学省が2016年4月に発表した性的指向と性自認に関する教職員向け資料の作成協力、監修した法務省企画の人権啓発映像はYouTubeで約268万回の再生回数にのぼっている。

これまでに文部科学省・厚生労働省・法務省・人事院・警察庁や最高裁判所に設置されている司法研修所、地方公共団体が主催する研修講師を多く務める。2023年には内閣府「性的指向・ジェンダーアイデンティティ理解増進連絡会議」における初回の有識者ヒアリングでこれまでの調査結果を報告した。監修したDVD教材「LGBTs（エル・ジー・ビー・ティーズ）の子どもを守る学校の取組 当事者に寄り添うために～教育現場での落とし穴」は文部科学省特選を受賞、NHK「ハートネットTV」「視点・論点」など新聞やテレビなどマスコミ出演多数。



徳田 稔（とくだ みのもる）

株式会社リトルエンゼル社長

焼津魚河岸シャツ組合

長年、制服販売に携わってきた経験に基づき、制服の多様性のあり方、自分らしさを実現するために必要な学校や社会の取組について関心を持つ。

ファッションが自分らしさ、地域のあり方に果たす役割について様々な取り組みを続けている。



<会場案内>

焼津市焼津地域交流センター 第5・6会議室

焼津市本町5丁目6-1 市役所アトレ庁舎3階

※JR 焼津駅南口より徒歩15分

（しずてつジャストライン 浅草幸町バス停下車すぐ）

（焼津市自主運行バスさつき、ゆりかもめ 北浜通バス停すぐ）

※無料駐車場あり

参加定員：50人 教育行政・人権関係者、当事者など

※参加費 500円

生徒・学生は無料、事前申込が必要

（「こくちーず」申し込みQRコード）



【注意】体調の優れない方のご参加はご遠慮ください。

《連絡先》しずおか虹と風の学校 担当：小谷

Eメール：shizuoka_nijikaze@hotmail.com

